

大会名 Competition	第32回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-102	Year Month Day Time 2019 年 5 月 3 日 10 : 35
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB															
開志国際	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>21</td></tr> <tr><td>27</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>27</td><td>4th</td><td>13</td></tr> <tr><td>0</td><td>T</td><td></td></tr> </table>	23	1st	21	27	2nd	13	14	3rd	18	27	4th	13	0	T		福大大濠
23	1st	21															
27	2nd	13															
14	3rd	18															
27	4th	13															
0	T																
91 ○		65 ●															

主審:Crew chief
松本 究 佐賀
副審:Umpire
武田亜沙美 山形
加藤 始 青森
テーブルオフィシャル:Table officials
青森商業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	高木 拓海	CAP	11	3	1	0	0	4	×	西田 公陽	CAP	7	1	2	0	4
5	／	板澤 明日起		15	0	7	1	3	5	／	高木 寛大		2	0	1	0	1
6	×	永原 陸		0	0	0	0	1	6	／	田邊 太一		3	1	0	0	2
7		吉川 瑠		-	-	-	-	0	7	×	間山 柁		17	5	1	0	3
8	／	渡邊 渉太		0	0	0	0	0	8	×	木林 優		3	1	0	0	5
9		西村 洸星		-	-	-	-	0	9	／	黒木 丈		0	0	0	0	2
10	／	星 一輝		0	0	0	0	0	10	×	平松 克樹		7	1	2	0	2
11	／	小島 一真		0	0	0	0	0	11	／	杉 渉夢		6	0	3	0	0
12	×	小野 功稀		17	2	3	5	3	12	／	山際 爽吾		5	1	1	0	1
13	×	ジョーンズ 大翔		10	2	2	0	1	13		岩下 准平		-	-	-	-	0
14	×	JOOF YUSUF		32	0	14	4	1	14	×	横地 聖真		10	1	3	1	1
15	／	OKOYE PETER		3	0	1	1	0	15	／	岩橋 史門		0	0	0	0	0
16	／	石原 史隆		3	0	1	1	0	16	／	原田 大和		0	0	0	0	0
17		田村 歩夢		-	-	-	-	0	17	／	針間 大知		5	1	1	0	0
18	／	白澤 朗		0	0	0	0	0	18	／	島崎 輝		0	0	0	0	0
コーチ		富樫 英樹						0	コーチ		片峯 聡太						0
アシ		津野 祐樹						0									0
合 計				91	7	29	12	9	合 計				65	12	14	1	21

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 イントシュート 2P:2P率 イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	32	35.16%	JOOF YUSUF
2	17	18.68%	小野 功稀
3	15	16.48%	板澤 明日起

1	17	26.15%	間山 柁
2	10	15.38%	横地 聖真
3	7	10.77%	西田 公陽

Score ranking[Game]

1	32	JOOF YUSUF	開志国際	2	17	小野 功稀	開志国際	3	17	間山 柁	福大大濠
---	----	------------	------	---	----	-------	------	---	----	------	------

1Q、先制点は開志#14Yusufがポストプレーで得点する。その後も開志は高さを生かしたゴール下での得点や#4高木の3Pで得点を重ねていく。対する大濠は、#10平松が3Pやジャンプシュートで得点するも流れがつかめず、なかなか得点が伸びない。フルコートでプレッシャーをかけて流れをつくと残り2分で#14横地、#7間山、#4西田と連続3Pが決まり、23-21で開志がリードして終了。

2Qも開志のオフェンスの勢いは止まらずスクリーンプレーを多用した#14 Yusufのゴール下での得点や#5板澤のドライブなどで得点していく。大濠は#8木林の3Pが決まるも、その後4分間無得点の時間が続く。タイムアウトやフルコートプレスで対応するが、#7間山の3Pや#11杉のドライブなど単発な得点で終わってしまい、50-34で開志がリードして終了。

3Q、後半も開志#12小野の3Pや#5板澤のスティールからの速攻、ゴール下シュート、で追加点を重ねる。大濠はゾーンディフェンスで高さへの対応をするも、止めることができない。また、攻守にわたってリバウンドもとられてしまう。高さのある守りに対して#7間山の3Pなど単発なシュートで終わってしまい、流れがつかめないまま68-52で開志がリードして終了。

4Q、開志は#14 Yusufのゴール下と#4高木の3Pで追加点を重ね、その後も粘り強い守りと安定した攻撃で試合を優位に展開する。大濠は出だしの4分間、無得点が続く、立て直そうとタイムアウトを取るが流れは変わらない。終了間際、大濠は#17針間の3Pやドライブで得点するも、終始リバウンドを制した開志が91-65で初戦を勝利で飾った。